

平成29年度 第1回二次電池部会を開催

平成29年10月19日、白澤部会長(古河電池)を議長に、平成29年度第1回二次電池部会を開催した。部会長より会議に先立ち「BAJ競争法コンプライアンスルール」に則り議事運営をする宣言がなされた。続いて、新部会委員、代理出席委員等の紹介の後、部会長及び専務理事より挨拶があった。



1. 白澤部会長挨拶

昨今の電池業界を取り巻く情勢について、国内の四輪の販売は2013年をピークに比較的トラックやバスが公共投資や観光ビジネス等で好調である。またISS（アイドリングストップ）車・EN（欧州）規格電池が着実に伸びている。

車載用電池は2010年からほぼ2500万個前後で推移し

ている。アフターマーケットではHV（ハイブリッド車）等の需要が大きくなり、その影響で在庫で見ると鉛容量ベースでは増えているが、個数では減っているようだ。

鉛の価格については、北朝鮮の問題や米国の好景気、金利の上昇、減税などで比較的高値であり、先月LMEは2500ドルを超え今月は2600ドルに迫る勢いで、中国需要増もあり高値推移が想定される。韓国への廃

鉛電池輸出の件は、6月に廃掃法やバーゼル法が改正され、駆け込み需要が1年くらい続く見込み。韓国精練会社が日本政府の視察＝立入りを拒否し処理の適正化が確認できず、来年夏以降輸出は落ち着くかもしれない。リサイクル原料の国内需要は高値推移だが、これから1年の間でリサイクル関係も大きく変わるのでないか。中長期的に蓄電池業界としては、2021年以降の欧米での鉛の特例解除が大きなターニングポイントとなる。BAJとしても注視していく。

またLIBに関しては、低価格化や低温特性の改善が注視される。また自動運転の技術が大きく花開くことだろうが、自動運転を支える電源マネジメントの中で鉛蓄電池の位置づけがどうなるかも注視していきたい。欧州で長期の中でEVシフト化していく宣言が出されたが、今後EV車の補機用電池がどうなるか等、大きな変革がまじかに控えている。そういった中で鉛蓄電池の優位性を引っ張っていけるよう、今後も皆さまのご協力をお願いしたい。



2. 清水専務理事挨拶

①5月末から専務理事に就任した。出身はパナソニック オートモーティブ & インダストリアルで車載・エネルギー関係部門の経営企画にいた。

鉛電池とは縁があり、入社時研修で辻堂工場でマスクをして鑄造工程に入った思い出があり、また戻ってきた感がある。先日、関西二次電池展でGYの村尾さんの話を聞いたが、鉛も進化を続けているということを知った。

この部会の参加は初めてだが、蓄電池製造組合創設79年の歴史の本筋を引き継いでいるのがこの部会だろうと考える。

②来週から東京モーターショーが開催される。昨今自動車業界に激震が走っているが、EVについての問合せが来ている。富士経済のデータを見ても、鉛電池は極端にこの先10年は落ち込まないということだが、EV化の波があるだろう。比較的安定して力があるときに次の世代に備えるということが大事。クルマのEV化は、日本の産業の一番根幹のピラミッドがどう形成されるかという大変なこと。我々は両方やっているのでどう構築されていくか、しっかりグローバルに見据えたい。2021年には鉛電池4兆円超えLIBも4兆円に近くなり、かなりのボリュームある業界になる。

③プレジャーボートの事故で12Vのバッテリーに24Vをつないだという信じられない事故があった。「誤使用」というのは、経産省の安全課も言うようにB to Cの場合は許されない、しっかり「誤使用再発防止」にBAJとしては力を入れて取り組みたいので、連携をお願いする。

3. 共通総合委員会及び各委員会の活動報告と活動計画

1) 広報総合委員会 報告者：事務局

- ・「みらいのでんちアイデアコンテスト」は10/20に入賞者を選考し、11/11電池の日に発表する。
- ・「手作り乾電池教室」は37ヶ所から応募があり、34ヶ所終了。ものづくりの楽しさで人気があるイベント。
- ・冊子「We LOVE DENCHI」を6月に改訂版を作成。乳幼児の電池誤飲防止の啓発も継続する。
- ・炭やくだものを使った「電池エネルギー体験教室」を現在企画検討中で、下期に骨子を固め試験的に2～3回開催する。
- ・でんちフェスタは、8/26鹿児島で4年連続開催で来年は変更。また足立区西新井のギャラクシティで12/2に初開催の予定。

2) 国際環境規制総合委員会 報告者：浅井副委員長 (FB)

- ・4つの地域（欧州・北米・アジアオセアニア・中南米）に分割して各タスクチームが環境規制に特化した情報収集活動をしている。
- ・欧州ELV規制の付属書Ⅱの改正案（適用除外は2021年に再検討）が専門部会より出され、欧州議会で10月頃決まる予定。
- ・中国浙江省が土壤環境重点監視対象企業リスト231社



を発表。内鉛蓄電池製造は22社。今後他省でも発表がある可能性がある。

- ・今後11月にリサイクル工場視察、および韓国・台湾視察を予定している。

3) 資材委員会 報告者：井上委員長 (GYE)

- ・資材委員会は、資材委員及びBAJ・他の委員会からの要求に応じ開催する。
- ・一方、傘下の資材分科会は3ヶ月毎に活動している。共用金型の管理や供給不安部品の調達などを審議。

4) 自動車用鉛電池リサイクル委員会 報告者：後藤委員長 (GYE)

- ・自主回収スキームの運用状況、SBRA 排出事業者登録状況、リサイクル実績等と上期の活動が報告された。
- ・拠点の登録件数は9/末で8,466件（増減は3/末比+60件）、業種別分布の傾向も変化なし。
カーメーカー系列とタイヤ関連、HC（ホームセンター）で略半分。
- ・CS（カーショップ）、自治体が増傾向、またガソリンスタンド・車解体業は相変わらず関心低く、ガソリンスタンドは本年度新規ゼロ。
- ・韓国向け輸出は6月にバーゼル法改正にもかかわらず、依然として国内発生量の約4割以上が流出する状況に変化なし。

- ・法改正前に輸出申請したライセンスが切れるのが来夏までで暫時減少していくと言われており、今後の動向を注視する。

- ・廃掃法の改正も実施され、国内有価取引においても規制強化がなされたため、一定の効果は期待できると見ている。

5) 技術委員会 報告者：蛭田委員長 (FB)

- ・主な活動テーマ（進捗～今後の予定と課題）と重要テーマ等5件の報告事項について説明された。
- ・JIS D5301の改正はWGで原案作成終了、IEC 60095-1と整合を取りながら、また都度 自技会と協議し改正を進める。
- ・SBAは4件が発行完了4件が改正審議中。
- ・重要テーマの内、IEC60095シリーズの改正・新規制定を進めているが、2018年6月に規格発行のスケジュールで進んでいる。JIS D5301、D5302 改訂に反映する。
- ・電池種類識別表示については、鉛電池はグレー表記となったが、CDV発行されたが否決。再CDV発行準備中。
- ・「形」「型」を使った電池名称の表現はガイドラインを発行した。問題提起あるも個社対応を依頼。
- ・和歌山GPS波浪計事故調査委員会にBAJとして参加した。原因は水素ガスに静電気が放電し着火し爆発したもので、バッテリーは無関係と結論。今後の対策として、ガイドラインを作成し作業を実施する模様。
- ・IEC本部より TC21とSC21Aの一部体制見直しに関

する提案があり、技術委員会としてのコメントがなされた。最近は用途別の規格増が背景と思われる。事務局・長田部長が補足説明した。

6) PL委員会 報告者：柴田委員長 (FB)

- ・始動用バッテリーの爆発事故件数(2016年度まで)の調査集計の年度推移等の報告があった。
- ・総件数は2010年以降減少傾向、用途別ではトラックの占有率が高止まり状態。原因は「液切れ」が依然多い。
- ・ここ数年、乗用車用途での爆発件数は増加傾向。14年度 9件、15年度 12件、16年度 14件。
- ・関係官庁(国交省)・団体(全日本トラック協会、東京都トラック協会)への安全啓発の説明・活動などを依頼した。
- ・昨年に引き続き「秋の交通安全運動」イベントに参加し、9/21佐野SAと9/22海ほたるPAで安全啓発活動を実施した。
- ・補機(二輪)用LIBの誤使用(補充電)による火災が市場で発生しており、安全啓発活動の検討をしている。

7) 産電リサイクル委員会 報告者：福島副委員長 (FB)

- ・活動報告の前に、産業用鉛電池のリサイクルシステムの説明がなされた。産電リ委は各社が「広域認定」を取っていて委任状を相互に出し合って委任されているもののみ回収している。環境省への年間回収実績の報告は、各社のトータル数で報告している。
- ・広域認定の変更(維持)の状況説明と、回収量増のため広域認定での回収PRのリーフの活用し共通化している。
- ・今後、共同広域対象外の海外製蓄電池の円滑な処理に関し、ベースとなる案を作って継続的に検討していく。

8) 環境委員会 報告者：福島委員長 (FB)

- ・中国版SDS(安全データシート)の法規調査を行った。通関に際しSDSかPIS(製品情報シート)中文書類提出が原則だが、受理されない場合は、税関担当者の指示に従う。(個社対応)
- ・欧州REACH 鉛化合物4種の付属書の記載動向と対応の報告があった。
- ・経産省「改正化審法」の内容説明があり、届出等については個社で対応しているとの報告があった。
- ・労働安全衛生関係や化審法があり、環境委員会の扱う「環境」の範囲がどこまでか分からず、困っている。

平成29年 10月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	11日(水)	第210回講習実施委員会	新潟県、大阪府にて開催した蓄電池設備整備資格者講習の修了考査につき、可否を判定。
	13日(金)	統計総合委員会	統計の項目、様式の見直し。
	20日(金)	広報総合委員会	でんちフェスタの内容検討、誤飲防止パネルの検討、電池の日・バッテリーの日の告知広告、電池月間PRキャンペーン、他。
	31日(火)	第2回 新種電池講演会	新種電池研究会委員による新種電池の紹介。
二次電池部会	4日(水)	自動車技術サービス分科会	プレジャーボートトラブル防止啓発対応、他。
	6日(金)	自動車鉛分科会	JISD5301改正案審議。SBA G0101改正審議。
	11日(水)	据置鉛分科会	JIS C 8712改正案審議。
	13日(金)	充電器分科会	SBA S 0903改正審議、他。
	13日(金)	資材分科会	共用金型の進捗状況、供給困難部材状況、他。
	19日(木)	二次電池部会	各委員会からの上期事業報告および下期事業計画、その他審議。
	20日(金)	用語分科会	SBA S 0405規格の改正審議、他。
	27日(金)	環境委員会	化審法対応状況情報交換、他。
二次電池第2部会	5日(木)	大形カスタムワーキンググループ	大形蓄電池システムの普及促進検討。
	6日(金)	産業用ニッケル水素分科会	IEC 規格対応、審議
	12日(木)	車載LIB ワーキンググループ	非駆動用LIBのIEC 規格策定
	12日(木)	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進検討。
	12日(木)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応。
	16日(月)	リチウム二次分科会	JIS C 8712改正案審議。二次電池用語 改版検討。
	18日(水)	据置LIB 分科会	IEC 規格対応、JIS 規格改正対応
	23日(月)	国際電池規格委員会	IEC 規格対応、審議
	25日(水)	蓄電システムワーキンググループ	建築関係の基準検討。
	27日(金)	環境規格分科会	IEC 規格対応、審議
一次電池部会	30日(月)	法規ワーキンググループ	蓄電池システムの規制検討。
	2日(月)	リチウム小委員会	IEC プロビデンス会議及びANSI 会議対応検討、リチウム電池輸送規制対応、他。
	3日(火)	規格小委員会	IEC 60086シリーズの検討、JIS C 8514 修正案検討など。
	13日(金)	消費者委員会	有事発生時の救援物質対応。
	18日(水)	環境規格ワーキンググループ	IEC 60086-6 CD案に関する審議。
	20日(金)	PL委員会	BAJ ホームページの改訂検討、他。
	25日(水)	誤飲対策セルワーキンググループ	10月のANSI、CPSC、IEC 会議報告及び今後の進め方について協議。

8月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2017年8月）

単位：数量一千個、金額一百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	395,145	70,429	99%	110%	3,072,914	565,692	104%	105%
一次電池計	233,326	8,199	97%	101%	1,835,042	62,755	104%	102%
酸化銀電池	75,871	1,235	107%	109%	575,669	9,531	113%	110%
アルカリ乾電池計	79,436	3,761	88%	90%	601,587	27,676	97%	99%
単 三	41,609	1,612	88%	88%	319,620	12,447	94%	96%
単 四	25,199	1,116	85%	92%	187,276	7,833	97%	101%
その他	12,628	1,033	96%	91%	94,691	7,396	105%	102%
リチウム電池	78,019	3,203	100%	114%	657,786	25,548	104%	103%
二次電池計	161,819	62,230	102%	111%	1,237,872	502,937	105%	105%
鉛電池計	2,354	13,522	101%	107%	20,691	117,313	104%	106%
自動車用	1,761	8,719	100%	108%	15,546	73,972	104%	108%
その他の鉛蓄電池	593	4,803	107%	105%	5,145	43,341	104%	104%
アルカリ蓄電池計	40,950	13,207	88%	93%	343,558	117,548	99%	99%
ニッケル水素	37,187	12,282	92%	94%	312,159	110,174	103%	100%
その他のアルカリ蓄電池	3,763	925	61%	81%	31,399	7,374	71%	88%
リチウムイオン蓄電池計	118,515	35,501	107%	122%	873,623	268,076	108%	108%
車載用	75,736	23,760	139%	135%	512,516	172,372	137%	117%
その他	42,779	11,741	77%	102%	361,107	95,704	84%	94%

8月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(2017年8月)

単位：数量一千個、金額一百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	235,627	46,957	105%	126%	1,794,793	342,228	105%	115%
一次電池計	105,151	2,657	113%	124%	811,406	21,030	106%	108%
マンガン	0	0	0%	0%	1	5	93%	38%
アルカリ	4,875	92	62%	75%	28,017	572	82%	98%
酸化銀	55,391	620	137%	139%	391,262	4,663	117%	116%
リチウム	44,885	1,819	101%	119%	391,425	14,991	99%	104%
空気亜鉛	0	0	—	—	691	8	117%	114%
その他の一次	0	127	21%	217%	9	792	3%	193%
二次電池計	130,476	44,300	100%	126%	983,387	321,198	105%	115%
鉛蓄電池	188	1,325	125%	126%	1,402	10,072	106%	119%
ニカド	1,255	134	32%	46%	13,890	1,394	56%	67%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	1	—	—
ニッケル水素	13,481	6,159	92%	109%	108,307	53,745	95%	123%
リチウムイオン	107,741	25,036	104%	113%	800,124	191,257	107%	107%
その他の二次	7,811	11,646	95%	195%	59,664	64,728	115%	143%
全電池合計（輸 入）	100,906	13,762	111%	130%	907,778	105,068	102%	105%
一次電池計	92,924	1,654	110%	119%	846,192	14,322	102%	107%
マンガン	9,574	139	99%	123%	103,949	1,169	94%	101%
アルカリボタン	860	5	28%	19%	19,507	150	83%	77%
アルカリその他	67,120	907	123%	129%	584,738	7,997	105%	106%
酸化銀	208	6	69%	76%	920	33	52%	67%
リチウム	10,215	495	85%	113%	98,743	3,999	107%	115%
空気亜鉛	4,930	79	106%	109%	38,185	697	86%	99%
その他の一次	17	23	563%	83%	148	277	98%	95%
二次電池計	7,982	12,109	117%	132%	61,587	90,747	104%	105%
鉛蓄電池	672	2,814	111%	117%	5,442	23,500	113%	114%
ニカド	55	171	132%	136%	595	1,263	83%	111%
ニッケル鉄	0	0	—	—	7	6	1830%	620%
ニッケル水素	1,856	347	118%	111%	15,316	3,234	99%	93%
リチウムイオン	5,265	7,481	120%	140%	39,486	53,880	111%	103%
その他の二次	134	1,295	57%	127%	742	8,865	31%	102%